

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社 北川鉄工所 上場取引所 東
 コード番号 6317 URL <https://www.kiw.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）岡野 帝男
 問合せ先責任者（役職名）執行役員 経理部長（氏名）三好 桂司（TEL）0847(45)4560
 半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月4日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	29,083	2.3	1,373	241.6	1,331	81.4	2,355	535.9
2025年3月期中間期	28,443	△5.6	402	△49.9	734	△43.9	370	△68.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,719百万円（△12.1%） 2025年3月期中間期 1,955百万円（22.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	254.88	—
2025年3月期中間期	40.13	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	80,206	43,245	53.9
2025年3月期	82,000	41,739	50.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 43,240百万円 2025年3月期 41,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年3月期	—	35.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	43.00	78.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,300	0.0	1,900	1.5	2,000	△13.6	2,400	92.5	259.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	9,650,803株	2025年3月期	9,650,803株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	398,662株	2025年3月期	411,583株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	9,243,432株	2025年3月期中間期	9,233,539株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）における世界経済は、米国の通商政策や中国経済の減速、不安定な中東情勢などにより先行き不透明な状況が続きました。また、わが国経済も雇用・所得環境の改善等により個人消費は持ち直しの動きが見られましたが、物価の高止まりや急激な為替の変化など不確実性の高い状況が続きました。

このような経営環境下において、当社グループの売上高につきましては、金属素形材事業は受注量が減少したことで減収となりましたが、産業機械事業のコンクリートプラント事業が大きく増収となり、前年同期比で増加しました。営業利益につきましても、産業機械事業の収益性の改善、金属素形材事業におけるコスト低減活動や販売価格改定により前年同期比で増加しました。また、当社および当社タイ子会社において有形固定資産の売却が完了したため、親会社株主に帰属する中間純利益が前年同期比で大きく増加しました。

その結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、29,083百万円（前年同期比 2.3%増）、営業利益は1,373百万円（前年同期比 241.6%増）、経常利益は1,331百万円（前年同期比 81.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は、2,355百万円（前年同期比 535.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

キタガワ グローバル ハンド カンパニー（工作機器事業）

工作機械業界は、内需は設備投資が依然として力強さを欠いていますが、外需はアジアを中心に堅調に推移しています。

当カンパニーの売上高につきましては、インドや中国等の海外受注が増え、4,833百万円（前年同期比 12.0%増）の増収となりました。一方、セグメント利益（営業利益）につきましては、国内市場での受注量減少の影響に加え、工場移設に係る一時的な費用の発生等により196百万円（前年同期比 29.6%減）となりました。

キタガワ サン テック カンパニー（産業機械事業）

建設業界は、全体的に好調であり公共投資を中心に底堅く推移しています。

当カンパニーの売上高につきましては、コンクリートプラント事業のメンテナンス工事が順調に推移したことにより11,984百万円（前年同期比 21.5%増）となりました。また、セグメント利益（営業利益）につきましても、コンクリートプラント事業の売上増加及び荷役機械事業の収益改善、自走式立体駐車場事業の収益の安定化により、1,610百万円（前年同期比 209.4%増）となりました。

キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー（金属素形材事業）

自動車業界は、米国の通商政策による影響を受けつつも、ICE・HV車両が一定の需要を維持しました。一方、農業機械・建設機械業界については欧米において依然として厳しい状況が続いています。

当カンパニーの売上高につきましては、自動車部品は一定の受注量を確保できましたが、農業機械・建設機械部品は市況の落ち込みにより安定した受注量を確保することができず、11,375百万円（前年同期比 12.0%減）となりました。一方、セグメント利益につきましては、コスト低減活動や販売価格改定により収益確保に努めたことで、112百万円（前年同期セグメント損失（営業損失） 242百万円）となりました。

半導体関連事業

半導体業界は、AI関連向けの設備投資が堅調であり順調に推移しております。

当事業セグメントの売上高につきましては、連結子会社である北川グレステック㈱において、消耗品の販売や半導体関連の受託加工が好調なAI関連の設備投資を背景に底堅く推移しましたが、ハードディスク製造装置の大型案件が前期で完了したことで753百万円（前年同期比 20.4%減）となりました。また、セグメント利益につきましては、今後の事業拡大に向けた開発投資の増加等の影響により6百万円（前年同期比 96.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べて1,793百万円減少し、80,206百万円となりました。

負債は、前受金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて3,299百万円減少し、36,960百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加があり、前連結会計年度末に比べて1,506百万円増加し、43,245百万円となりました。純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は43,240百万円となり、自己資本比率は53.9%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,449百万円の収入（前年同期は2,462百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益3,103百万円及び減価償却費1,497百万円や棚卸資産の減少額574百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産売却損益1,939百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,515百万円の支出（前年同期は1,436百万円の支出）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出1,838百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、125百万円の支出（前年同期は318百万円の支出）となりました。主な内訳は、配当金の支払額230百万円であります。

これらにより当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ679百万円増加（前年同期は906百万円の増加）し、11,888百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、直近の業績動向を踏まえ、2025年5月13日に公表しました業績予想の内容を修正しております。

詳細につきましては、本日（2025年11月12日）公表の「2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,503	12,186
受取手形、売掛金及び契約資産	8,780	9,419
電子記録債権	6,304	5,244
商品及び製品	4,716	4,892
仕掛品	5,974	5,272
原材料及び貯蔵品	3,059	2,830
その他	1,175	989
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	41,500	40,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,655	7,901
機械装置及び運搬具（純額）	11,121	10,653
その他（純額）	7,375	6,461
有形固定資産合計	27,151	25,015
無形固定資産		
のれん	534	490
その他	548	548
無形固定資産合計	1,082	1,038
投資その他の資産	12,265	13,330
固定資産合計	40,500	39,384
資産合計	82,000	80,206

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,696	3,325
電子記録債務	5,602	5,184
短期借入金	3,648	4,228
1年内返済予定の長期借入金	1,875	1,920
未払法人税等	495	412
前受金	2,412	—
賞与引当金	672	661
役員賞与引当金	27	—
製品保証引当金	109	78
資産除去債務	137	37
その他	6,729	6,132
流動負債合計	25,407	21,982
固定負債		
長期借入金	8,337	7,816
退職給付に係る負債	4,408	4,562
その他	2,107	2,599
固定負債合計	14,853	14,978
負債合計	40,260	36,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	4,893	4,886
利益剰余金	22,017	24,142
自己株式	△777	△752
株主資本合計	34,773	36,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,896	2,255
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	3,501	2,550
退職給付に係る調整累計額	1,562	1,518
その他の包括利益累計額合計	6,960	6,323
非支配株主持分	4	5
純資産合計	41,739	43,245
負債純資産合計	82,000	80,206

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	28,443	29,083
売上原価	24,483	24,245
売上総利益	3,959	4,838
販売費及び一般管理費	3,557	3,465
営業利益	402	1,373
営業外収益		
受取利息	29	7
受取配当金	65	81
持分法による投資利益	121	—
為替差益	60	—
スクラップ売却益	125	67
その他	139	73
営業外収益合計	541	229
営業外費用		
支払利息	198	161
持分法による投資損失	—	20
為替差損	—	37
減価償却費	—	37
その他	10	14
営業外費用合計	209	271
経常利益	734	1,331
特別利益		
固定資産売却益	35	2,184
特別利益合計	35	2,184
特別損失		
固定資産売却損	—	244
固定資産除却損	—	168
特別損失合計	—	412
税金等調整前中間純利益	769	3,103
法人税、住民税及び事業税	192	366
法人税等調整額	207	380
法人税等合計	400	746
中間純利益	368	2,356
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する中間純利益	370	2,355

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	368	2,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△157	359
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	1,746	△916
退職給付に係る調整額	△53	△44
持分法適用会社に対する持分相当額	50	△35
その他の包括利益合計	1,587	△637
中間包括利益	1,955	1,719
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,957	1,718
非支配株主に係る中間包括利益	△1	0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	769	3,103
減価償却費	1,450	1,497
のれん償却額	44	44
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23	△10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	151	167
受取利息及び受取配当金	△95	△88
支払利息	198	161
持分法による投資損益(△は益)	△121	20
有形固定資産売却損益(△は益)	△35	△1,939
有形固定資産除却損	—	168
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,883	385
棚卸資産の増減額(△は増加)	26	574
仕入債務の増減額(△は減少)	△876	△731
未払消費税等の増減額(△は減少)	87	240
その他	△63	△658
小計	3,391	2,933
利息及び配当金の受取額	188	117
利息の支払額	△203	△155
法人税等の支払額	△914	△446
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,462	2,449
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,671	△1,838
有形固定資産の売却による収入	76	690
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	2	0
持分法適用関連会社株式の取得による支出	—	△530
貸付金の回収による収入	198	387
その他	△38	△220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,436	△1,515
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	663	590
長期借入れによる収入	1,800	60
長期借入金の返済による支出	△2,387	△517
社債の償還による支出	△5	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△369	△230
非支配株主からの払込みによる収入	1	—
その他	△21	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△318	△125
現金及び現金同等物に係る換算差額	199	△129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	906	679
現金及び現金同等物の期首残高	10,367	11,208
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,274	11,888

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	キタガワ グローバル ハンド カンパニー	キタガワ サン テック カンパニー	キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー	半導体関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,315	9,866	12,929	946	28,058	384	28,443
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	0	77	0	88	—	88
計	4,326	9,866	13,007	947	28,146	384	28,531
セグメント利益又は 損失(△)	279	520	△242	174	732	△11	720

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	732
「その他」の区分の損失(△)	△11
全社費用(注)	△318
中間連結損益計算書の営業利益	402

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	キタガワ グローバル ハンド カンパニー	キタガワ サン テック カンパニー	キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー	半導体関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,833	11,984	11,375	753	28,947	136	29,083
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	0	95	—	106	—	106
計	4,845	11,984	11,470	753	29,054	136	29,190
セグメント利益又は 損失(△)	196	1,610	112	6	1,926	△56	1,870

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,926
「その他」の区分の損失(△)	△56
全社費用(注)	△496
中間連結損益計算書の営業利益	1,373

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。